

花沢アイクリニック通信

第120号

R2年12



くっせついじょう 屈折異常について ～その2～



こんにちは。院長の梅津由子です。

今まで経験したことのない、特別な1年となった今年。せめて穏やかな年末年始を迎えたいものですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は近視のお話の2回目です。

近視の発症には、遺伝的要因（生まれつきの素質）と環境要因の両方が関与すると考えられています。アジア人には近視が多く、両親とも近視でない子どもに比べて、片親が近視の場合は2倍、両親が近視の場合には約5倍の確率で子どもも近視になりやすいと言われています。環境要因としては、近業（近くを長時間見ること）や屋外活動が少ないことに関与が示されています。日本だけでなくアジアの国々や米国でも小・中学生の近視が増えており、スマートフォン、ゲーム機などの普及が関係しているのではないかとされていますが、はっきりした関係は不明です。

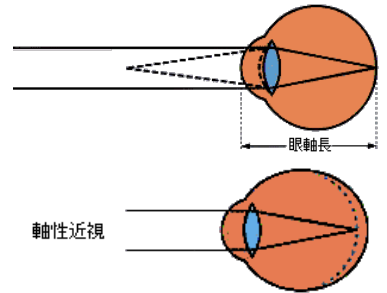


元来、乳幼児期には目は軽度の遠視であり、眼球の成長に応じて正視となり、学童期以降に近視が進行するのが一般的です。

近視の多くは学童期に眼軸長が過度に伸びることによる軸性近視で、眼鏡によって正常視力まで矯正可能な単純近視が多いです。

が、まれに病的近視に進行する例もあります。近視の程度は、屈折度の単位であるジオプトリー（D）を用いて、弱度近視は-3.00D以下、-3.00Dを超えて-6.00D以下は中等度近視、-6.00Dを超えると強度近視と分類されています。

眼球の成長は16歳頃まで続き、近視の進行を止めることは困難です。黒板の字が見えにくくなったら、眼鏡で矯正する必要があります。眼科で精密検査を受けて、適切な眼鏡の処方を受けることをお勧めします。コンタクトレンズは管理が難しいのと、管理を誤ると目の病気の原因になることから、中学生から高校生などある程度の年齢に達して自己管理ができるようになってから使うほうが安全です。



目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



クリスマスは目もともオシャレに★

★JILLSTUART 1day UV★

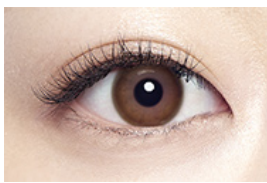


大人気アパレルブランド「JILLSTUART」とコラボレートした、ファッション感覚のカラーコンタクトレンズです。これまでのフローラルピンク・オートクチュールオリーブ・ブリリアントブルーの3色に加え、ブラウンとブラックの2色が新登場しました。

どちらも保湿成分配合でうるおいが長く続くので、乾燥が気になるという方にもオススメ♪UV カット機能付きなので、外出の際も有害な紫外線から瞳を守ります。



装用前



ブラウン装用



ブラック装用

★ブラウン…ナチュラルでふんわりとしたかわいい印象

★ブラック…自然な発色で瞳になじみ、清楚でかっこいい印象

まるで本物！？クラゲのアクアリウム

受付カウンターにある水槽には、ゆらゆらと水中をただよう3匹のクラゲが。

本物のクラゲではありませんが、ずっと見ていたいような、心が落ち着くような癒しを与えてくれます。

クラゲ鑑賞には癒し効果があるとい

うことが科学的な実験で検証されたそうです。ぜひ待ち時間にクラゲを眺めて、リラックスしてくださいね。さらにこの水槽、照明の色を変える事ができるん

です。色の変化で違った雰囲気を楽しめます。

もしリクエスト色があればお気軽に声をかけてくださいね！

あなたは何色のクラゲを見ましたか？
めだまいきいきライフ！



編集後記

クラゲのアクアリウムを見て、「これは本物ですか？」とよく尋ねられます。子供からお年寄りまで楽しむことができると好評です！

茶々・やこ・まめちよ

